

国内肥料資源利用拡大に向けた連携計画

第1 取組の全体像と目指す姿

1 課題

注) 本事業を活用しようとする地区において、どのような課題があるのか記載すること。

記載例) ○○農協では、化学肥料の高騰により、耕種農家の経営を圧迫しているが、化学肥料に代わる国内資源由来の肥料を安定的に調達することが容易ではなく、肥料の転換が進まない。他方、△△農協では、畜産業から排出される家畜ふん尿を個々の畜産農家が堆肥製造等により処理してきたが、近隣に堆肥を利用する耕種農家が少なく、家畜ふん尿の滞留が畜産経営の維持・拡大の障壁となっている。

2 取組の方向性

注) 第1の1に記載した課題の解決に向けて、どのようなことに取り組むか方向性を記載すること。

記載例) △△農協が共同利用する堆肥製造施設を整備するとともに、同施設で製造された高品質な堆肥を□□株式会社に提供し、新たな混合肥料を製造する。併せて、○○農協において、新たな混合肥料を使った栽培実証を行い、耕種農家に効果を確認してもらい、新たな混合肥料の利用拡大を図る。

3 目指す姿

注) 第1の2に記載した取組を通じて、将来、どのような姿を目指すのか記載すること。

記載例) △△農協の堆肥を使った堆肥入り6-6-6混合肥料を製造し、○○農協における化学肥料の代替として普及する。

第2 取組に向けた連携体制

1 肥料原料供給事業者

(1) 事業者名

注) 第1の2に記載した取組における肥料原料供給者を記載すること。なお、具体的な肥料原料供給者が記載できない場合は、想定される肥料原料供給者を記載すること。

記載例) △△農協(△△県)、△△管内の畜産農家を想定、等

(2) 取組内容

注) 第2の1(1)に記載した事業者が取り組む内容を記載すること。

記載例) 堆肥入り6-6-6混合肥料の原料となる高品質な堆肥を製造するため、共同利用する堆肥製造施設を整備する。

(3) 活用する事業

注) 第2の1(2)の取組に当たって、活用している又は活用することを想定している事業があれば記載すること。

記載例) 畜産クラスター事業のうち畜産環境対策総合支援

2 肥料製造事業者

(1) 事業者名

注) 第1の2に記載した取組における肥料製造事業者を記載すること。なお、具体的な肥料製造事業者が記載できない場合は、想定される肥料製造事業者を記載すること。

記載例) □□肥料株式会社(□□県)

(2) 取組内容

注) 第2の2(1)に記載した事業者が取り組む内容を記載すること。

記載例) 農家が使いやすい堆肥入り6-6-6混合肥料の製造に向け、ペレット化や粒状化に必要な施設を整備する。
堆肥入り6-6-6混合肥料の開発を行う。

(3) 活用する事業

注) 第2の2(2)の取組に当たって、活用している又は活用することを想定している事業があれば記載すること。

記載例) 国内肥料資源利用拡大対策のうち国内肥料資源活用施設総合整備支援、国内肥料資源活用総合推進支援

3 肥料利用者(農業者の組織する団体等)

(1) 事業者名

注) 第1の2に記載した取組における肥料利用者を記載すること。なお、具体的な肥料利用者が記載できない場合は、想定される肥料利用者を記載すること。

記載例) ○○農協(○○県)
○○県の農業者を想定

(2) 取組内容

注) 第2の3(1)に記載した事業者が取り組む内容を記載すること。

記載例) 化学肥料に代わる新たな堆肥入り6-6-6混合肥料の効果検証を行うとともに、散布に必要な機械を導入する。

(3) 活用する事業

注) 第2の3(2)の取組に当たって、活用している又は活用することを想定している事業があれば記載すること。

記載例) 国内肥料資源利用拡大対策のうち国内肥料資源活用総合推進支援